

<p><活動家集団 思想運動> 第55年度全国総会にむけての問題提起…………… 1</p> <p>いま、われわれが、時代の転換点にいることの確認からはじめよう</p> <p>——内外情勢の特徴点とわれわれの活動課題</p> <p>広野省三（<活動家集団 思想運動> 全国運営委員会責任者）</p>	
<p>第22回世界平和評議会総会——政治宣言…………… 12</p> <p>——われわれは反帝国主義闘争を強化し、平和と社会正義のための連帯を固める</p> <p>【訳＝木田誠也】</p>	
<p><キューバ>…………… 24</p> <p>団結と勝利は、わが祖国と社会主義の現在であり未来である</p> <p>——第10期人民権力全国議会発足会議での演説</p> <p>ミゲル・ディアス＝カネル（キューバ共産党中央委員会第一書記、キューバ共和国大統領）</p> <p>【訳＝沖江和博】</p>	
<p>ウクライナの軍事的状況…………… 32</p> <p>——ドンバス戦争に声をあげなかった人びとの敗北</p> <p>ジャック・ポー（元スイス戦略情報局諜報員）【訳＝木田誠也】</p>	
<p><HOWS2022年度後期講座「日本近現代と朝鮮・中国関係を考える」シリーズ>…………… 42</p> <p>中国・日本・朝鮮の近代化路線を考える</p> <p>——ウェスタン・インパクトにどのように対応したか？</p> <p>近代東アジア三国の分岐の原因、歴史における選択肢＝未知の可能性</p> <p>康成銀（朝鮮大学校朝鮮問題研究センター研究顧問）</p>	
<p><沖縄からのレポート>…………… 60</p> <p>日米地位協定を改定せよ!——沖縄を解放し、自由の扉をひらくために</p> <p>金治明（沖縄戦と朝鮮人強制連行を記録する会）</p>	
<p><HOWS2022後期講座>…………… 74</p> <p>ソ連邦倒壊から30年</p> <p>——社会主義諸制度の解体を経て資本主義ロシアへ</p> <p>山下勇男（社会主義理論研究）</p>	
<p><読者のたより>…………… 90</p> <p>本誌第6号「日本共産党に見る転向の軌跡」を読んで</p>	二瓶一夫